

伊賀市 事務事業評価シート

整備事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	850	広域市町村圏道路整備事業	01	01	一般会計
基本施策	50	市内道路網を機能的に強化する	08	08	土木費
			02	02	道路橋りょう費
			03	03	道路新設改良費
担当部課名	建設部 道路河川課		101	101	広域市町村圏道路整備事業
作成者氏名	松山 宗達	連絡先	22-9816	01	広域市町村圏道路整備事業

事業の計画・内容

整備目的	地域の実情や要望に応じて、道路管理上必要な幹線道路を整備・改良し、安心・安全で快適な道路を市民等に提供することを目的とした事業である。	整備内容	1 整備面積等	延長 m、幅員 5.5m(7m)
			2 規模・構造	3種4級、2車線
			3 総事業費(千円)	30,539

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	1	0	0
	人件費合計(A)	7,200	0	0
	事業費(B)	30,539	0	0
②支出内訳(千円)	委託料	8,698	0	0
	工事費	21,478	0	0
	その他	363	0	0
	合計(A+B)	37,739	0	0
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国庫支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源	37,739	0	0	
上記①～③に関する特記事項 平成18年度から臨時地方道整備事業になる				

根拠法令・要綱等	道路構造令、アスファルト舗装要綱
関連事業	特になし

事業年度	開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度
------	------	----	----	------	----	----

進捗状況	区分	年度				
		H18	H19	H20	H21	H22
進捗率						

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標
道路改良率の向上・・・道路整備率の向上	道路改良工事の増により、道路整備率の向上につながり、市内道路網を機能的に強化するための指標になる。	平成 17 年度 改良率 100%

事業開始時からの状況変化等

概ね計画どおりに進んでいる
---------------

評価	必要性	4	この事業により、市内の渋滞解消、市民等の利便が図れたことから、市内道路網を機能的に強化できる事業である。そのうえ、地域間の交流及び渋滞解消により、満足度の上昇による有効性が向上した。しかし、用地の課題により未整備な区間が一部あり、達成度の向上には時間を要するが、今まで効率的に事業が進められている。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		